

2018年度進路ガイダンスが 開催されました



濱面代表理事

今春シニア自然大学校を修了する講座生等を対象に平成最後の「進路ガイダンス」が1月20日(日)鶴見緑地、花博記念ホールで開催されました。この進路ガイダンスは講座生が修了後の進路を決めるのに助けとなる情報を提供する為に毎年行われています。

11時には花博記念ホール前に研究科や地域組織、サークルなどのスタッフが箱や旗を持ってブース準備の開始を手ぐすね引いて待ちました。11時30分頃からブース準備が始まり、持参した展示物を並べ、写真、ポスターを貼って、旗を立てて思い思いに例年通りの準備を進めていました。

12時30分には会場内のスタッフは会場外に、入れ替わりに高等科・本科講座生合わせて200人余りが入場、クラス毎に決められた席に行儀良く座りました。前のスクリーンには「生涯現役 継続した活動に向けて」と書いたパワーポイントスライドが撮されていました。

13時からガイダンスが始まりました。司会者の紹介で濱面代表理事の挨拶、それは会場に掲げてある「生涯現役、継続した活動に向けて」を説明するもので、多くの自然に関連した分野の勉強したことを今後生かし、社会貢献、社会に還元することに心がけて欲しいと話されました。

その後、このガイダンス内容の説明、行こうとする研究科や地域組織、クラブ、サークルへのエントリーの方法を丁寧に説明後、サークル等のスタッフが入場、お見合いが始まりました。



ブーススタッフは展示に如何に楽しいところか！プレゼンに工夫を凝らしていました。説明を、蘊蓄を聞かせてもらうとひとつの授業になるように思えました。

もう一つ、もっと凝っているのはお土産。それぞれ日頃作っている工作、撮した写真、どれもお得感いっぱい！でも、持って帰って大切にしてもらっているかちょっと心配！



取材をしていると多くの顔なじみに会いました。こんなこともしているのだと感心する出会いがいっぱいでした。今年の修了生も多くの処を見て、聞いて、触って今後の活動に生かしていただきたいと思いました。(広報 石原)